

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		AIJYU松沢		公表日 2025年 5月 15日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・くつろぎルームやプレイルーム、相談室、学習室を利用し過ぎしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・スタッフが配置数以上の数で対応しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2		・スロープが玄関外にあるが、施設内はバリアフリーになっていないので、手すりを検討していきたいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・点検を毎日して環境を整えています。活動の空間はミーティングで話し合いをして考えています。 ・噴霧器を設置しています。	・目が行き届いていないところがないか話し合いをし気を付けます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・簡易型ではあるが、子どもの個別スペースを確保しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	・ミーティングを毎日行い、話し合いをします。	・振り返り、目標設定に近づけるように今以上に話し合いをしていきたいです。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・業務改善にすぐに対応しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・毎日、職員が業務の前に集まりミーティングを行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		・外部評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・様々な外部研修や、施設内で時間を設けて全員で研修を受けています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1		・公表しました。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・該当者なし	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・スタッフ全員で話し合いをしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	・担当者会議を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・子どもに何か変化があれば情報共有をして確認を行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	・職員間で必ず行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・スタッフで話し合っていて決めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・発達状況に応じた課題設定になるように日々職員間で確認しながら行っています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 5月 15日			
AIJYU松沢					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・職員と常に話し合い、個別活動と集団活動を組み合わせて考えて作成し支援しています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・朝のミーティングで活動内容や利用者さんの人数などを確認しています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・送迎などもあり、時間が合わずその日に全員に共有できない事があるが、次の日の朝に情報共有は必ずしています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・ご利用後に、ケア記録等を必ず入力しています。	
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・定期的に行い、全員がモニタリングで話した内容を共通理解することができています。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	・会議などあれば、子どもの状態を適切に説明し、判断し、対応できる最も精通したふさわしい者が参画しています。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	・相談員を通じて連携しています。	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		・該当者なし
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		
28	(28～30は、センターのみ回答)				
	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	3	5		
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	5	・研修の機会があれば参加しています。	
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	5	・機会があれば参加したいと思うが、該当者がいません。	
31	(31は、事業所のみ回答)				
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2	・該当者がいませんでした。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	・クロスランドで地域の中で他のこどもと触れ合いました。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・AIJYU松沢での様子、家庭での様子によって違いはあるが、共通理解をもとに取り組むように努めています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5		・障害の理解や子どもの状態、支援方法等について、必要に応じて保護者の方への情報提供や相談対応等を行っているが、ペアレントトレーニングは行っていない。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時に説明を行っています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 5月 15日				
AIJYU松沢						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・モニタリングやアセスメント時に保護者としっかり話し合いをしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・モニタリング時に説明を行っています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・希望に応じて相談を受け付けています。また、定期的なモニタリング時に相談の時間も設けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5		・保護者同士の連絡の場を作りたいと思っています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・相談や申し入れがあった場合は、すぐにスタッフと話し合い、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・必要に応じて、連絡事項などの情報をおたよりやHUGを通して発信しています。また、行事や日々の活動をSNS等も活用しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・個人情報を守るため、職員間で声をかけながら十分に注意しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・目で見て分かるように視覚的教材を用いたり、子どもたちが分かりやすいような言葉で伝える等、特性に合ったやりとりを心がけています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		・AIJYU松沢としての行事はないので考えていきたいと思っています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・HUGやおたよりでお知らせしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・災害時を想定した訓練を定期的に行っています。今後も継続していきます。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	・保護者の方よりお知らせをいただいています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・必要に応じて、服薬・投与・緊急搬送先など取り決めを保護者と行います。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・事業所内で研修を行い安全管理に努めています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	・Instagram等を利用し、事業所内での様子を公開しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・危険な事例があった場合、報告書に記載しミーティングで共有し、注意していきます。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・外部研修への参加の他、事業所内でも研修を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・計画に記載はしています。		